



SMSCA NEWS

一般社団法人 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会 No. 73

◇1◆9◇5◆5◇ 目 次 ◇2◆0◇2◆2◇

1 p : 競技委員会 L J C ・本間選手優勝

2 p : 登山部 スノーシューイング技術講習会
講習会に参加して

3 p : 個人会員委員会 鹿俣山山行レポート
研修会報告川口市岳連

4 p : 会員投稿 埼玉の街道 講演会

5 p : 選手強化委員会 小中学生選抜C大会
リザルト・事務局便り

6 p : 倶楽部探訪 大宮アルパインクラブ
倶楽部探訪 大宮岳稜会

7 p : 活動報告 川口市山岳連盟
訃報・編集後書



競技委員会



表彰式 森 秋彩 (茨城)、本間大晴(埼玉) 選手
(写真提供: 大沼広夢 TMF)

本間大晴選手 優勝!

第35回リードジャパンカップ

2022年2月12日-13日、千葉県印西市の松山下公園総合体育館において、第35回リードジャパンカップが開催。(一社)埼玉県山岳・スポーツクライミング協会(SMSCA)の本間大晴が、4大会ぶり2度目の優勝をはたした。12日の予選はAルート完登、Bルート2位タイで首位通過。

13日の準決勝は、厳しいルートに苦戦し6位。迎えた決勝では、ハイライトの最上部のトラバースで大逆転し優勝した。

本間大晴選手 (コメント)

優勝することができ、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。

2年連続で日本代表になれず、辛い日々が続きました。結果が出るのか、これからどうなるのか、不安との戦いでもありました。

そこでやっとこのタイトルを獲得することができ自信に繋がったと思います。

これまで支え続けてきてくれた方々にやっと恩返しできました。

【鈴木宏昭先生から】

晴、優勝おめでとう。

高校在学時、真摯にクライミングに向き合い、努力を続けてきた姿を知っているので、今回の結果を大変嬉しく思っています。今後より一層の活躍を祈っています。頑張ってください

【本間選手の印象に残ったルートのコメント】

☆瑞牆:アサギマダラ(ボルダリング)5段という難易度の高いルート。初めて5段を登れてそれにふさわしい1本となりました。

☆瑞牆:ディペンデンス(ボルダリング)V15(5段)ボルダリングだが、とても高度感のあるルート。最後の一手が恐怖感に負けてしまうと手が出すことができない。恐怖心に打ち勝って止めた一手は達成感に満ち溢れた。

☆障子岩:踊る蒺藜 5.13a(草野俊達 初登)難易度は高くないが、初めて登られたのが約20年前と歴史あるルート。綺麗な岩壁でその一本しかコースが引かれていなく魅力的なラインである。内容も最初から最後まで気の抜けない繊細な動きが問われ痺れるクライミングができた。

本間大晴くんも4月から社会人となります。自分の息子と同じ歳でもあるせい、息子に接するような気持ちで小言を含めて応援してきました。

その真面目さ故で、自分を追詰め過ぎないように今後も伸び伸びと自身と、またクライミングと向き合ってくれると良いと思っています。皆さまも是非本間大晴くんの応援をお願いいたします。

Instagram https://www.instagram.com/taisei_homma/

登山部

スノーシューイング技術講習会

初級・登山編



11月10日の机上講習会の実技編として、12月19日(日)、上越新幹線越後湯沢駅付近で「スノーシューイング技術講習会・登山編(初級)」を開催しました。

参加者は、SMSCA 会員7名に、JSSF(日本スノーシューイング連盟)

技術指導部長:水上宏一郎氏が講師、同JSSFの駿谷氏、大野氏が補助についていただき計10名。

新幹線で日帰り可能というスケジュールで、8:20 越後湯沢駅に集合。その後着替えをし、構内で1時間ほど机上講習。ここで、今回使用するスノーシューは、登山者が普通使用しているワカン代わり(ラッセル専用)のものではなく、スノーシューレース用のスノーシューを使用。その特性や使用方法の解説があった。今まで、ワカン代わりに使用するスノーシューについては特別な使用方法の説明や指導などなかったが、スノーシューレースに使用するスノーシューに関しては技術が必要。まだ使用者はそれほど多くはなく、愛好家も限られるが、登高専用でなく登高下降の両方で使用できれば、積雪期の活動(範囲や内容)が広がる。まだまだこれからの道具かもしれない。ちなみにJSSFでは昨年1月スノーシューイングワールドカップを妙高で開催している。

その後、スノーシューを持って奇跡的に一昨日降った雪が残る外に出て実技講習開始。

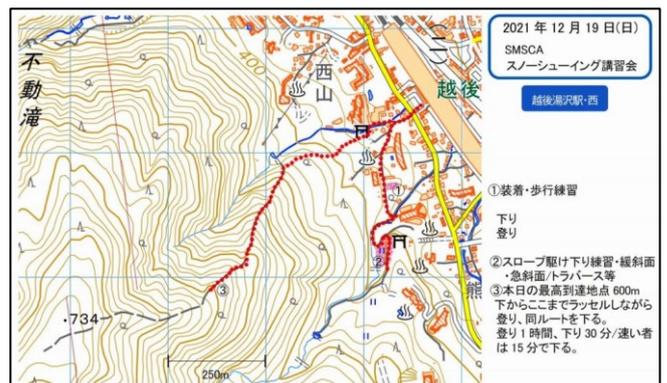
駅前正面から道路を横断し、山に向かって車道を進む。小広い場所で、スノーシューを履き、まずは平地歩行練習。自由に円を描いたり8の字に歩く。周辺の緩斜面を少し登った後、荷物を持って雪の残った車道を下る。今回は特に下りの練習が主となる。そこから車道をまた山に向かって緩く登

っていくと沢沿いのラッセルのされていない車道や斜面となった。ここを講習のメイン会場とする。

カーブのある緩い林道を下り専用レーンとすべく、上り下りして踏み固める。そしてコースができたら、自然に下る練習。徐々にスピードを上げるが、前傾姿勢を取ってできるだけ自然に大腿で下るのがコツ。上手になると全身を使って無理なくスピードがでる走りができるようになる。休み休み各自のペースで走り込み。その都度いろいろ助言をいただき、コツがつかめてくる。特に若いものは呑み込みも早く、すぐに体現していく。羨ましく思う。その後さらに急斜面の下降の練習として、補助の駿谷さんと大野さんがコースづくり。林道から沢に下る斜面を固める。ほどほど出来上がったところで、みんなも移動し挑戦。いきなり上からやってみると斜度が気になり、後傾姿勢になって転んでしまう。ここでも前傾姿勢でないといけない。また早足で足が絡まらないように少し上に飛ぶようにすると時間が稼げるという。斜面中頃からのスタートで練習しコツがつかめるようになったらまた上から挑戦し慣れてくる。ここでも若者はさすがアツという間に上達。その後、トラバースの練習をして午前中の練習を終了。

昼食を各自で取って、また練習するものもいた。午後1時、後半はスノーシュー登山の実技。午後3時終了という事で、近くの734m点を目指して尾根を登る。途中夏道があるがすべて雪の中。一昨日の降雪で雪斜面となり安心して進む。ブッシュがあるので登りにくいが、スノーシューをうまく使って進んでいく。途中休憩をはさみ、午後2時をめぐりに前進。約600m地点を最高到達点として下る。思ったより急斜面を登ってきたのだが、下りは早い。特に補助講師の大野さんは15分で快適に下ったとのこと。こちらは30分で下山。ブッシュが邪魔になってなかなか思うように下れなかったが、慣れると早く降りられそうだ。

駅に戻って挨拶とまとめをして講習会は終了。その後、時間の許す方は、近場の蕎麦屋に行き、地酒とへぎそばで乾杯。懇親を深めました。



写真/記録/地図: 加藤富之 (SMSCA 事務局)

スノーシュー講習会に参加して

防衛医科大学校医学科6年 今中智樹



スノーシュー 足慣らし

このスノーシュー講習会には防衛医大より学生2名で参加させていただきました。卒業後、自衛隊で勤務することになる私達にとってスノーシューは、豪雪地域への災害派遣等の際に役に立つのではないかと考え、参加を希望しました。

スノーシューはワカンと軽アイゼンの双方の利点を組み合わせた道具だと思います。懇切丁寧なご指導のおかげもあり、スノーシュー歩行に特段難しいコツは感じられませんでした。上りでは足を接地面へ押し当てるだけで、フレームだけが自然に接地面と平行に傾きます。同時にクランポンが接地面をキャッチし、すぐに雪の斜面を走って登ることができるようになりました。スノーシューは、ワカンよりもひと回り大きいフレームがある上にフレームと足底の隙間を埋める膜(デッキ)が張っているため、雪面との接地面積が大きくなり、大きな浮力が生じます。これによる浮遊感が歩行時にとっても心地よく感じられました。斜面を駆け下りる際は歩行というよりも滑走に近く、飛翔に近いスピード感を体験することができました。スノーシューは色々な靴に装着可能であることもわかりました。これは災害救助に用いる際の大きな利点だと思います。スノーシューは、誰でも短期間で扱いに慣れやすく、多くの積雪地のシーンに対応できますが、岩稜や氷壁には使用できません。この点は登山者としては注意しないといけないと思いました。

これからも色々な機会を使って、私達は、さらにスノーシューの習得を進め、積雪地域で活動する自衛官にも積極的に勧められるようになるべく、技術をマスターしてゆきたいと思いました。



個人会員委員会

個人会員実技山行 レポート

鹿俣山～獅子ヶ鼻山

個人会員 小沢賢市

2022年1月30日(日)

太陽は出ているが雪のパラパラ降る玉原スキー場駐車場に8時過ぎに到着。8時半、集合場所でリーダーの話が有り3班に分かれ皆で家族連れの沢山いるリフト2本乗り継ぎ山頂駅到着。

ビーコンテスト、準備運動、軽く自己紹介、机上講習会で習った地図とコンパスで方角チェックしてまずは鹿俣山を目指す。先行者らしきトレースが薄っすら見える場所も有るが、ノー・トレースが基本の山行になりそうだ。ラッセルも今日は18人パーティー、皆でやれば怖くない?ちょっと思いました。太陽が出たり消えたり、思ったより寒い日になりそうですがこれ以上の悪天候にならぬ様祈っている内に鹿俣山到着。小さな山頂、水分補給、記念撮影して獅子ヶ鼻山を目指す。

机上講習でのプリントに載っていたアニマルトラックでも無いか〜と、考えながら歩いている「誰か前を交代して頂けますか?」2.3人の有志が交代して前を進む。鹿俣山から少し上がると尾根に出た。右手には雪庇、左手には樹林帯、先行者2人と思われる人影も遠くに良く見えるが中々ラッセル、コース選択に手惑っていそうで18人パーティーとの距離が離れないように見える。

「もっと左を歩いて」リーダーの声がいつもより大きい。先行者の後を歩けば安心と思っていたが、ルートは自分で選び、決める。多少のラッセルなど全く気にせずより安全、安心な山行する。小人数なら大丈夫な雪庇でも大勢歩けば?なのかもしれない。良い勉強になりました。



引き返し地点で

「残念ですがここで降りましょう」天候も怪しくなり時間も12時、これからますます、険しくなる痩せ尾根の手前が今日の最到達点。

リーダーの声は責任と2人連れです。水分補給、行動食、少し落ち着いてから記念撮影。今来た道を下ります。スノーシュー、ワカン、アイゼン、ツボ足こんなに違うギアでのパーティーで歩いたのも経験が無いから皆を見ているだけで面白く歩きました。使って歩いた事有るし頭ではわかっているそれぞれの長所、短所。でも同じ場所、条件で2つ使えないからこれまた勉強になりました。鹿俣山に戻りリフト山頂駅付近をスキー場に迷惑かけぬ様一列になって歩く。

朝はリフトで上ったが帰りは歩いて下る。地図を見ながら、ラッセルし、右側スキー場の音楽が聞こえる樹林帯の中を歩く、歩く。「あ、四時半でレンタル終わりだよ」急げ、急げ。18人パーティー、雪山で無くてもいろいろ有りますよね無事下山。朝の集合場所に全員到着「今日はノー・トレースを歩けた事、良かったと思います」リーダーの挨拶で解散。参加され方々楽しい山行をありがとうございました。

鈴木講師初め役員の方々本当にお疲れ様でした。
~~~~~

## 投稿 日本山岳会 埼玉支部



講演会場

### 「埼玉の街道」杉山正司氏の講演会報告

主催：日本山岳会・埼玉支部  
山岳古道調査プロジェクト実行委員会

日本山岳会では創立120周年記念事業の一環として、全国山岳古道調査を実施中です。埼玉支部では、旧秩父往還を含む「十文字峠越え」及び「雁坂峠越え」の2コースを日本山岳会・山岳古道調査PT(プロジェクトチーム)に推薦し、2021年6月から支部担当古道の下見実地調査を開始しております。今回の講演会は、埼玉支部の古道調査の活動状況及び日本山岳会の山岳古道調査Pを、一般の

古道愛好家の方を含め関係者に広く理解していただくことを目的として、埼玉支部の山岳古道調査プロジェクトが企画したものです。「埼玉の街道」講演会は、「歴史の道調査報告書・第11集・秩父甲州往還(編集・埼玉県教育委員会、埼玉県立博物館)」及び埼玉の近代交通史に関する調査研究の第一人者として知られる埼玉県立歴史と民俗の博物館・主任専門員兼学芸員の杉山正司氏に依頼しました。

令和4年1月16日(日)、13:30-15:30、埼玉会館・ラウンジ(2階)で開催し、日本山岳会の本部1名、東京多摩支部1名、埼玉支部21名を含む会員23名、埼玉県山岳・スポーツライミング協会及び一般古道愛好家など10名、を含め総計33名が参加しました。新型コロナウイルス感染症(特にオミクロン変異株)が埼玉県内でも急速に猛威を増す中、アルコール除菌、検温、三密回避及びアクリル板設置等の感染防止に注力しながら、参加者数を限定して開催したものです。

講演内容は、①街道と宿場の意義及び五街道の整備、②参勤交代や伝馬制度の問題点、③木曾街道(中山道)六十九次(英泉画)の浮世絵を参考に、蕨、浦和、大宮、上尾、桶川、熊谷、深谷、本庄宿などの特徴や宿の設置目的など、④秩父三山と秩父観音巡礼三十四ヶ所、⑤忍藩代官所や秩父大宮の六斎市、本野上、下吉田、小鹿野など繁栄状況、⑥寄居から釜伏峠及び小川町から定峰峠経由で大野原へなどの道筋、⑦吾野道や甲州道の特徴、⑧栃本関所の設置経緯、などの詳細な説明がありました。質疑は講演会の予定時間が過ぎていたため1名のみでしたが、街道の歴史を理解するうえで参考になる書籍として、「さいたま歴史街道」埼玉新聞社や歴史の道調査報告書・秩父甲州往還などの紹介がありました。

講演は、五街道の設置から脇往還の概要に関する中近世の街道史を俯瞰した紹介があり、中山道や秩父往還の詳細を説明頂きました。講演時間に余裕があれば、もう少し旧秩父往還及び関連する峠道などの役割や特徴をお聞きし、古道調査に関する理解を深めたいところでした。今後は、実際に古道を踏査しながら、情報を蓄積したいと考えております。 日本山岳会埼玉支部 松本敏夫記



講師 杉山正司氏



埼玉支部長 大山光一

# 選手強化委員会

選手強化委員長 内海 信

## 第7回関東地区小中学生選抜C選手権大会 短信

参加応援 天野専務理事、横内競技委員長  
コーチ 内海 信 合計66名参加

第7回関東小中学生選抜クライミング選手権大会に、コーチとして引率参加しました。

17号から上武道路とスムーズに流れ、8時頃現地到着、しばらく休憩後駐車場の埼玉県内ナンバーに声をかけると全員出席でした。午前中の予選、カンテ側のホールドやフットホールドの見落としが有り、決勝に進めたのは男子3名・女子2名、小学女子には厳しい課題でした。

午後の決勝、石田選手2位の選手を大きく離して見事優勝、残りの選手もかなり健闘してくれました。他都県の選手が、エッジの部分を足を巻き込んだり・手で掴んだりして、競技停止になっていたのので、保護者宛参加御礼と共に、ルール等について宿題を出しました。(職業病かもしれません。)

回答について、正答率はかなり寂しかったですが、保護者からは感謝の言葉と、帰りに地元のジムで練習をしました等の報告を頂き、これからの成長・活躍に期待を新たにしました。

## RESULT 2021/11-2022/2

### 【第7回関東地区小中学生選抜C選手権大会】

- 11月21日(日) 群馬県前橋市
- 中学男子 5位 長森 晴、 8位 松浦 陽色、  
12位 中寫 颯杜
  - 中学女子 8位 稲垣 杏、 9位 秀間 美羽
  - 小学男子 1位 石田 奏、 10位 高橋 宗大
  - 小学女子 10位 栗原 芽吹、 16位 都築 明日美

### 【第1回ユースフューチャーカップ鉦田】

11月27日(土)-28日(日) 茨城県鉦田市

|        | L         | B     |
|--------|-----------|-------|
| ユースC男子 | 長森 靖 5位   | & 8位  |
| ユースC男子 | 松浦 陽色 16位 | & 5位  |
| ユースC男子 | 高橋 宗大 60位 | & 52位 |
| ユースC女子 | 稲垣 杏 29位  | & 35位 |
| ユースC女子 | 檜村 夕渚 68位 | & 48位 |
| ユースD男子 | 石田 奏 6位   | & 6位  |
| ユースD女子 | 栗原 芽吹 4位  | & 18位 |

### 【第7回ボルダリングユース日本選手権倉吉大会】

- 12月18日(土)-19日(日) 鳥取県倉吉市
- ジュニア男子 5位 鶴 隼人、
  - ユースA男子 28位 石井 海翔、25位 大澤 苺花
  - ユースA女子 1位 野部 七海、27位 猪鼻 碧人
  - ユースB男子 13位 山田 航大、18位 山田 琴美
  - ユースB女子 4位 武石 初音、24位 秀間 美羽

### 【第12回全国高等学校選抜スポーツ

#### クライミング選手権大会】

- 12月25日(土)-26日(日) 加須市
- 男子 12位 猪鼻 碧人、42位 石井 海翔  
48位 伊藤 啓太
  - 女子 15位 大澤 苺花、16位 野部 七海  
46位 大嶋 唯花

### 【第17回ボルダリングジャパンカップ】

- 2月5日(土)-6日(日) 三重県四日市市
- 男子 20位 本間 大晴 21位 百合草 碧皇  
47位 鶴 隼人
  - 女子 8位 小池 はな 29位 武石 初音  
36位 金子 桃華 42位 大澤 苺花

### 【第35回リードジャパンカップ】※1p 関連掲載

- 2月12日(土)-13日(日) 千葉県印西市
- 男子 ※1位 本間 大晴 5位 百合草 碧皇  
40位 鶴 隼人 42位 猪鼻 碧人
  - 女子 9位 小池 はな 19位 武石 初音  
37位 大澤 苺花

### 【事務局便り】

令和4年3月13日(日) ラフレさいたま櫻ホール  
令和3年度埼玉県スポーツ賞 授与式  
※代表参加：石倉昭一会長

【優秀選手賞】野部七海さん 県立熊谷工業高校  
ボルダリングユース日本選手権 第1位

【功 勞 賞】飯田 雅彦氏 秩父市岳連理事  
元埼玉県警秩父署 山岳救助隊副隊長

#### 受賞感想

「埼玉県スポーツ功労賞を頂き、協会皆様のご協力ご支援の賜物と心から感謝申し上げます。私は警察職員として30年山岳救助や遭難防止活動に従事するも山岳事故は増加の一途であります。

退職後も登山者方々の安全に寄与したく雲取山荘スタッフとして稼働し、皆様の安全に力を注いでいく所存です。今後も皆様のご協力をお願い致します。」

令和4年3月 飯田 雅彦

# 広報委員会

## SMSCA 倶楽部探訪

### 大宮アルパインクラブ

団体名：大宮アルパインクラブ  
 創立：平成16年7月（2004年）  
 代表者：石倉 昭一  
 会員数：合計43名（男28名・女15名）  
 連絡先：担当：石倉昭一  
 集会日時：毎月第一、第三火曜日 19：30～21：30  
 集会場所：大宮駅西口 シーノ大宮  
 活動内容：オールシーズン、オールラウンドに一年間活動している。ハイキングから、一般登山、沢登り、岩登り、雪山、山スキー、アイスクライミングなど。アルパイン（岩と雪）は目標として、やりたい人には指導、教育をしています。  
 会の紹介：会員には公認の山岳指導員や山岳ガイド、環境省自然公園指導員や埼玉県立自然公園指導員などがおり新入会員には丁寧な指導をいたします。山行は、会山行・個人山行。会費は年＝5,000円（途中入会は月割り）。  
 会員募集：随時会員募集中です。例会（集会）見学や体験山行も行っています。  
 問い合わせは、メール：[si-ageo@topaz.ocn.ne.jp](mailto:si-ageo@topaz.ocn.ne.jp)  
 担当・石倉昭一  
 ホームページ：<http://oac.main.jp/>



### 大宮岳稜会

団体名：大宮岳稜会  
 創立：昭和45年（1970年）  
 代表者：阿部 鍼一  
 会員数：合計34名  
 新入会員：募集中  
 連絡先：連絡方法は下記HPを参照ください。  
 定例会：毎月 第1、第3火曜日



黒斑山山頂にて

集会場所：シーノ大宮ビル・生涯学習センターか桜木公民館（JR大宮駅から徒歩で7分程度）  
 活動内容：ハイキングから縦走、沢登り、岩登り、積雪期登山までオールラウンドな活動をしています。月1～2回の会山行を実施しています。会山行では岩登り講習会や雪山訓練も実施しており、また定例会では、レスキューや地図の見方などの各種机上講習会を実施しています。また個人山行も自由に計画し実施できます。こちらの方が圧倒的に回数は多いです。  
 会の紹介：当会は令和2年（2020年）に創立50年を迎えました。記念行事を予定していましたが、コロナ禍のため実施は見送りとなりました。毎年、会山行の山名や山域等は、会員のアンケートで決めています。山行の参加は自由です。また、埼玉県山岳スポーツクライミング協会の各種講習会にも参加できます。当会の会費は、年4,800円です。また、山岳保険は全員加入していただいています。現在、日本山岳協会の山岳共済会の保険に加入しており年額約5,000円です。  
 会員募集：会員募集については、当会のHPで案内しております。現在、定例会はコロナ禍のためオンラインで行っていますが、逐次対面での定例会に切り替えつつあります。定例会見学ご希望の方はHPの【定例会見学ご希望の皆さんへ】をご覧ください。また、会の紹介や入会案内・活動内容などの詳細はHPをご覧ください。

ホームページ：<http://www.miyagaku.sakura.ne.jp>



溪流の宝石



# ALP K2®



**自** 然の中で過ごすのに気持ちのいい季節です。山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。あなたの動脈血の酸素量が今どの位なのか、脈拍数はどの位なのか、正確な機械で測定してみてください。医療機関等で使用されているパルスオキシメーターを、特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。

**季** 節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたいかがでしょう。お誕生日、結婚式、もちろんご自身にも。用途に応じて対応させていただきます。山行に持参できる小型タイプもございます。血圧は健康のバロメーターのひとつです。どうぞお問い合わせ下さい。



**登** 山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聴こえてきます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳・スポーツクライミング協会の活動を応援している  
田中産業株式会社は1969年の創立。世界80数カ国に製品を輸出しております。



BO - 600

登山者必携  
パルスオキシメーター



- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

## ALP K2® 田中産業株式会社

本社  
113-0033 東京都文京区本郷3-16-3  
TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177  
Eメール alp2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を  
取得致しております